

1 ミライノバとは

区画整理が進み、道が整いつつある登戸・向ヶ丘遊園駅周辺は、まちの賑わいを創出するステップへ。

「登戸・遊園ミライノバ」とは、登戸土地区画整理事業で生まれた空き地（道路や宅地として使用を開始していない市の管理用地等）や、小田急電鉄用地を実験的に活用しながら、定期的にキッチンカー等が出店する「イツモの日=日常」と、地域の方々や共創パートナー等がイベントを行う「ハレの日=非日常」の取組を通じて、まちの賑わいづくりやテナント出店につなげるプロジェクトのことです。



2 登戸・遊園エリアの現状を踏まえた取組

土地区画整理事業の進展	まちのポテンシャル 交通利便性が高く、自然環境・文化施設等が充実	駅周辺の賑わいが不十分	チェーン店や医療系などのテナントが多い
-------------	-------------------------------------	-------------	---------------------

令和3年
7月～

川崎市・小田急電鉄(株) 覚書締結
「登戸・遊園ミライノバ」プロジェクト始動！

(1) まちの賑わいづくりの取組

市の管理用地や道路などを暫定的に活用しながら、キッチンカーの出店や地域主体のイベントの開催などまちの賑わいづくりに向けた実験的取組を行います。

(2) テナント出店に繋がる取組

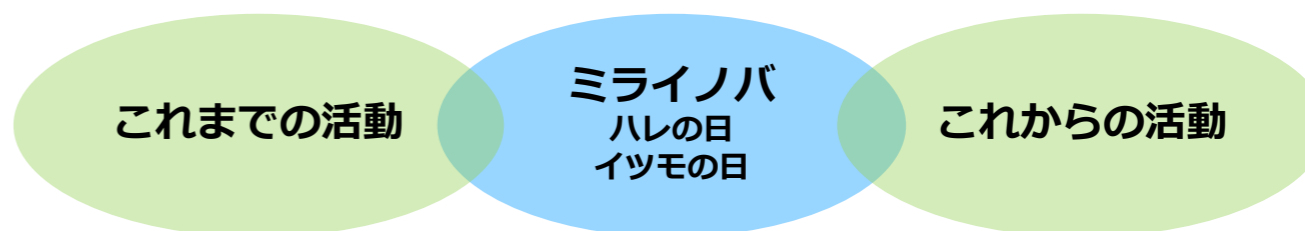
バランスのとれたまちづくりに向け、上記(1)の賑わいづくりの取組や販売実績データの公開などを通じて、まちのポテンシャルや可能性をPRし、当該エリアへの本格出店につながる取組を実施します。

(3) 地域や共創パートナー等を巻き込んだ取組

持続可能な取組となるよう、市と小田急が連携・協力しながら取組を進めるとともに、関係企業・団体、地域の方々や共創パートナーなどを徐々に増やし巻き込みながら、取組を推進していきます。

3 ミライノバが目指す方向性

■目指すミライノバの姿

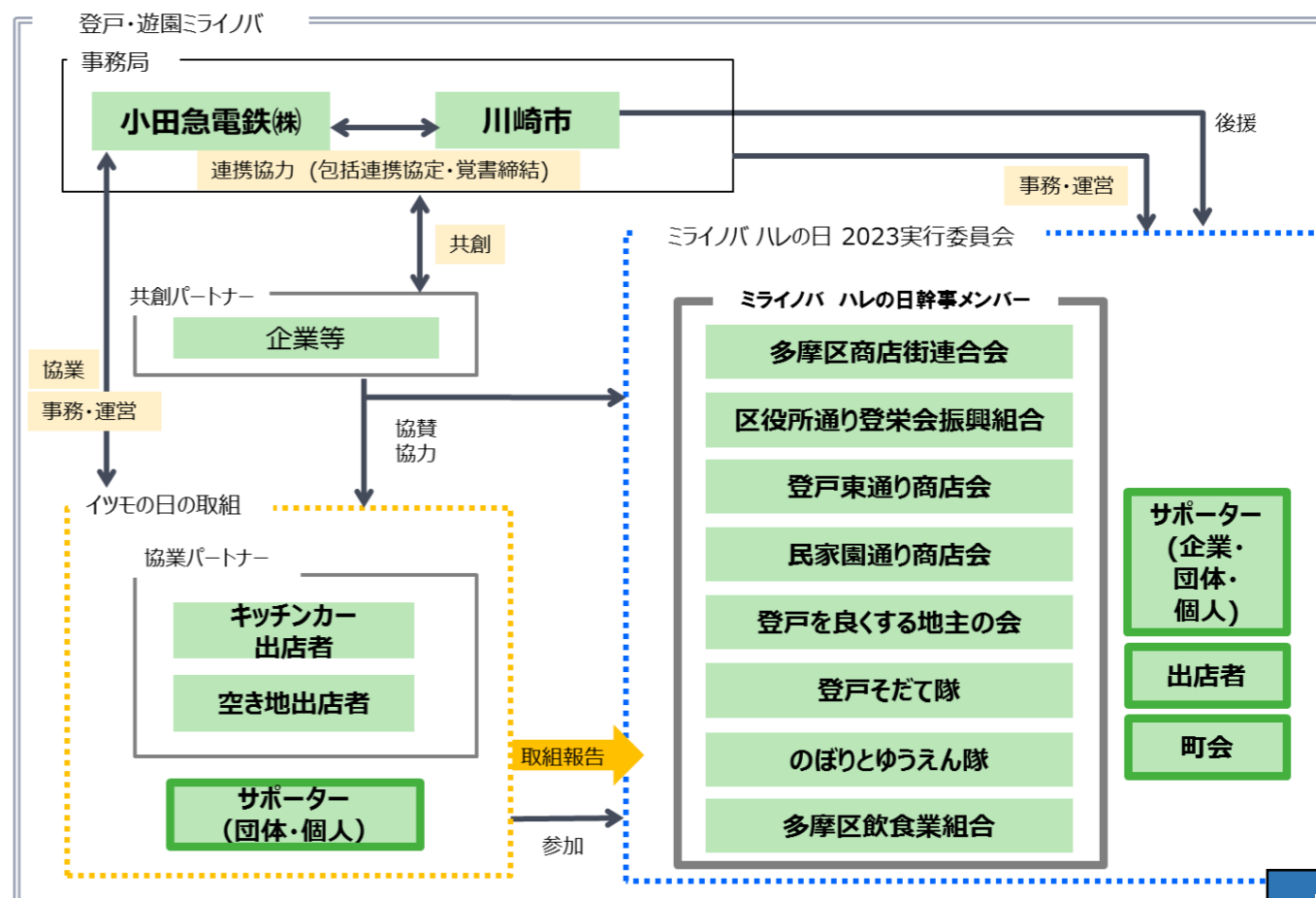


ミライノバは、登戸・遊園エリアの「これまでの活動と新たな活動を歓迎・応援し、つなげる場」となり、令和7年度事業完了に向けて、地域での自律的な取組となることを目指しています。

■目指すまちの姿

ミライノバの取組を通じて、登戸・遊園の魅力を生内外に発信し、**住む人、働く人、訪れる人が愛着を持ち、関わり続けられるまちの実現を目指します！**

4 ミライノバの運営体制（令和5年度時点）



5 イツモの日の取組



駅前エリア
 駅前のスペースに、キッチンカーをはじめとした移動型店舗が並び、日常的な賑わいや交流づくりを行います。

空き地エリア
 街なかの暫定的な空き地。「関わりたい人を大切に場所」として、このまちに住む人と訪れる人の関わりを大事にしたい人や地域の賑わいや交流を創りたい人が集まる場所です。



- 協業パートナー**
- ALOHA BABY
 - EPIC
 - Ribot Coffee
 - SUMOAI KITCHEN
 - Restoration Roasters
 - Luxage
 - キッチンカーこのは
 - たまくママのわ
 - ほんのりシューシャイン
 - かめれおん
 - トライアングルキッチン
- 共創パートナー**
- コトブキ
 - サントリー
- (令和4年7月1日現在)



6 ハレの日の取組

■テーマ
 『知りたいな、登戸のまち』
 登戸・遊園エリアに長く愛される地域文化に触れ、これからの地域を盛り上げるグルメ・アートなどが楽しめるイベント

■実施日
 ①第1回：2021年11月27日（土）
 ②第2回：2022年10月23日（日）

■場所
 登戸2号線・区画整理事業管理用地

■主催
 登戸・遊園ミライバハレの日実行委員会

■主なコンテンツ
 キッチンカー、物販店舗、芝生広場、スクールバンド、和太鼓・御神輿など

■来場者数
 ①約1,000名
 ②約7,000名



ミライバハレの日2023 11月中旬開催決定！

7 ミライバオープンミーティングの開催

■目的
 ・ミライバを知るきっかけづくり
 ・ミライバの活動紹介、最新情報の共有
 ・まちに関わる人との交流の場

■実施日
 ①第1回：2022年6月29日（水）
 ②第2回：2023年2月22日（水）

■参加者
 川崎市、小田急電鉄、ハレの日実行委員会幹事メンバー、協業パートナー、共創パートナー、スポーツパートナー（フロンターレ・ブレイブサンダース）、町会、個人の方など

■参加者の主な感想
 ・街を盛り上げようとする方々がいると知れて、心強さを覚えるとともに、自分にも何かできるのかなと考えるきっかけになった。
 ・具体的な対応を意見交換できた。多数意見の中から1つでも実施できるように、協力していきたい。



「まちに開かれた会議」として、今後も継続的に実施予定！